

22日 厚真中学校が平成28年度胆振管内教育実践表彰を受賞

厚真中学校（渋川賢一校長）が平成28年度胆振管内教育実践表彰を受け、同校で表彰授与式が行われました。

今回の表彰は、平成24年度から文部科学省の教育課程特例校として、小中9年間を見通した教育課程を編成し、新たに「コミュニケーション科」を導入したこと、イングリッシュデイキャンプや留学生との交流など、小中の連続性を踏まえた英語教育について先進的な実践研究に努め、胆振管内教育の充実発展に大きな功績を上げたことが認められました。



阿部胆振教育長から表彰を受ける渋川校長

23日 町民目線で町の事業を評価 外部評価委員会が結果報告

町が実施する行政評価の客観性や透明性を確保し、効率的かつ効果的な町政運営を推進するために昨年度から開催された厚真町行政評価外部評価委員会（石橋俊樹委員長）での評価結果がまとまり、同委員会が役場を訪れ、宮坂町長に評価結果の報告を行いました。

委員会から「各分野において先進的な取り組みを進めているが、部署間の連携や情報共有をもっと深めるべき」との意見がありました。



町長へ報告書を手渡す石橋委員長（右）

25日 厚真産ハスカップの機能性とは ハスカップフォーラム

ハスカップフォーラム2017（厚真町ハスカップブランド化推進協議会主催）が総合福祉センターで開催され、約80人が参加しました。札幌市にある中村薬局の社長の中村峰夫さんが「厚真産ハスカップの機能性に関する薬学的調査の結果報告」と題して講演。

中村さんは「厚真産ハスカップに含まれる成分の活性化によって、老化に伴う骨粗しょう症、生活習慣病の高脂血症、糖尿病の軽減、がんの予防などに有望と示唆される」と説明していました。



厚真産ハスカップの機能性について講演する中村さん

29日 9人が皆勤賞を受賞 高齢者大学修了式

厚真町高齢者大学の修了式が、総合福祉センターで行われました。平成28年度の学生数は76人。うち1年間全課程に出席した学生が9人で、学長の宮坂町長が、出席した一人ひとりに皆勤賞の賞状を授与しました。

宮坂学長は「さまざまな知識を深め、自分の人生に対する探究心をもち、人生を楽しむ皆さまが厚真町の鏡となって引っ張ってほしい」とあいさつしていました。



宮坂学長から皆勤賞の賞状を受け取る学生

1日 卒園・卒業おめでとう

町内のこども園、小学校、中学校、高校で卒園式や卒業式が行われ、園児や児童・生徒たちが、友人や先生たちと過ごした学び舎を巣立ちました。

3月1日に北海道厚真高等学校（加澤雅裕校長）の卒業証書授与式が行われ、28人の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。



卒業生代表による答辞

2日 地域おこし協力隊が1年間の活動報告

地域おこし協力隊6人が総合ケアセンターゆくりで1年間の活動報告を行いました。地域おこし協力隊は1人ずつ農業や林業関係者、役場職員などの前でこれまでの活動内容や目標を発表。

平成28年度末で地域おこし協力隊・林業支援員の任期を終える中山睦基さん（31歳）は、研修先であった町内の製炭会社に、春から就職。「北海道の炭の生産量が落ちてきているので、現社長と協力して生産量を増やしていきたい」と抱負を語っていました。



活動内容や目標を述べる中山さん

4日 築108年の古民家の解体現場を見学

鹿沼地区にある旧山口邸の解体工事現場で、古民家再生現場見学会が行われ、約50人が参加しました。

この住宅は、明治41年に建てられた木造平屋建ての農家住宅。福井県の越前地方住宅の特徴である、仏間の上手に仏壇の間、座敷の奥に僧侶が休憩する部屋が設けられています。

参加者は100年以上前に建築された古民家の梁組みなどを熱心に見学していました。今後は移築再生し、町の活性化のために活用する予定です。



古民家の解体現場を熱心に見学する参加者